

第8章 事業計画

8-1 事業概要

本計画では令和3年から12年の10年間を事業期間とし、その中で前期（令和3～7年）と後期（令和8～12年）の期間を設け各時期の終わりに進捗状況の確認と整理を行います。

10年間の事業では「整備に向けた調査」「景観の整備」「史跡の整備」の3つの柱を基に整備および調査を実施します。



図 8-1 整備の3本柱関連図

● 整備に向けた調査	史跡の整備に向けた仙名城跡の実態解明調査（発掘・測量ほか）。
● 景観の整備	修景（植生）を中心とした城郭全体にかかる景観の整備。
● 史跡の整備	築城期登城路の再現や土塁の顕在化、法面保護等、史跡の保存と活用のための整備。

本計画の事業計画期間で行う整備および整備に係る市道の取扱い等の検討は、関係部局・機関と十分調整のうえ、連携して行います。特に関係機関である東北大学は仙名城跡に隣接しており史跡や天然記念物との関わりが大きいことから緊密な連携を図ります。また、令和5年度の開催が予定されている全国都市緑化フェアは史跡に隣接してメイン会場が設けられることから、主に景観整備の面で相乗効果が生まれるような整備を関係部局・機関と連携して実施します。

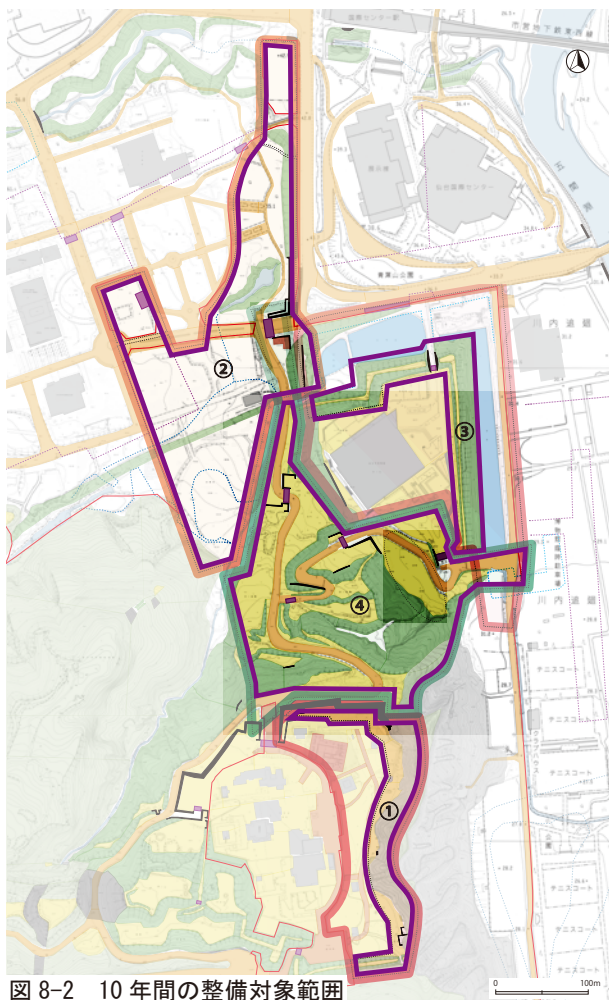


図 8-2 10年間の整備対象範囲

上記の観点により、10年間の事業は以下の範囲で行います。

①本丸整備ゾーン ●●

【本丸縁辺地整備区域】

修景（植生）と、遺構表示、サイン施設および便益施設の設置、東側崖面の法面崩落防止整備等を行います。

②大手門整備ゾーン ●●

【大手門整備区域・二の丸詰門整備区域・扇坂下整備区域】

整備に向けた調査と修景（植生）を行います。

③東丸（三の丸）整備ゾーン ●●

【東丸（三の丸）外構整備区域】

修景（植生）と、園路の整備、サイン施設、安全確保のための柵設置や植栽等を行います。

④登城路整備ゾーン ●●●

【登城路整備区域・造酒屋敷整備区域】

修景（植生）と、遺構表示、園路の整備、サイン施設および便益施設の設置等を行います。

8-2 事業計画期間で実施する整備

1 ゾーンごとの整備内容

8-1で整理した、10年間で実施する整備をゾーンごとに具体的に示します。整備は、事前に発掘調査を実施したうえで、基本設計、実施設計を行い、計画的に実行します。

①本丸整備ゾーン【本丸縁辺地整備区域】

本計画の前期において優先的に、歴史的眺望（政宗ビュー）の確保を行います。また、それに伴った休憩施設の設置と眺望サインの設置・更新等を行います。東側崖面は、崩落を防止するため法面保護等を行う必要があります。

- 市街地への眺望を確保し、遺構を保護するための修景（植生）
- 地形保全および遺構保護にかかる法面保護
- 誘導および眺望サイン、ベンチ等の設置
- 異櫓の遺構表示

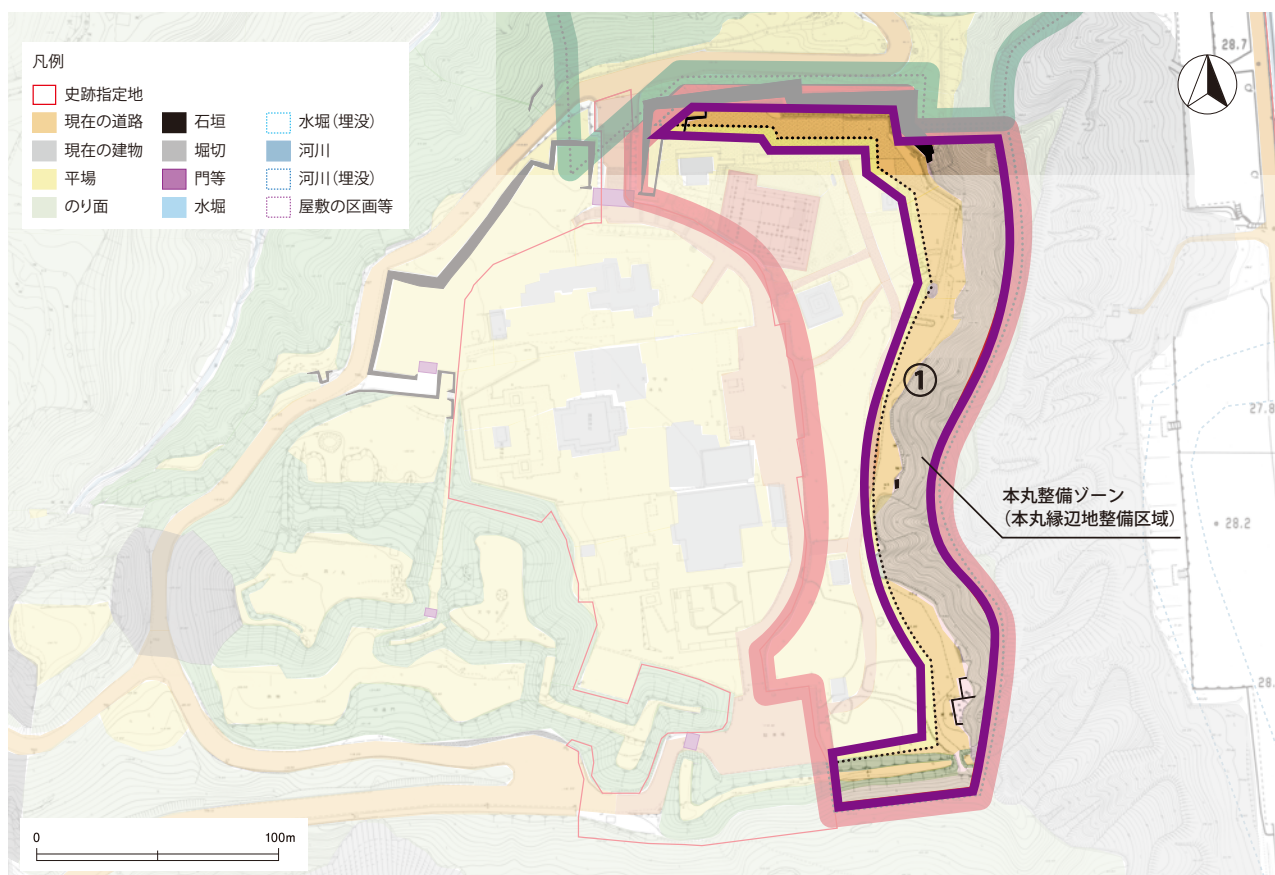


図 8-3 本丸整備ゾーン 整備対象範囲

整備項目と内容		整備スケジュール	
		前期（令和3～7年）	後期（令和8～12年）
遺構表示	異櫓	■	■
便益施設	ベンチ	■	■
サイン施設	誘導、眺望	■	■
修景	植生	■	
法面保護	崩落防止	■	■

③東丸（三の丸）整備ゾーン【東丸（三の丸）外構整備区域】

東丸（三の丸）跡の土塁は、城郭の外構施設であり、城郭らしい景観形成に有効なため顕在化する必要があります。また、市街地から仙台城跡への主要動線に隣接しており、城郭らしい景観形成に効果的であるため、修景については青葉山公園（仮称）公園センターの整備と連携した優先的な整備を進めます。

- 植生の剪定・伐採・除草による土塁の顕在化と史跡の修景
- 見学園路の整備、柵およびサイン施設の設置

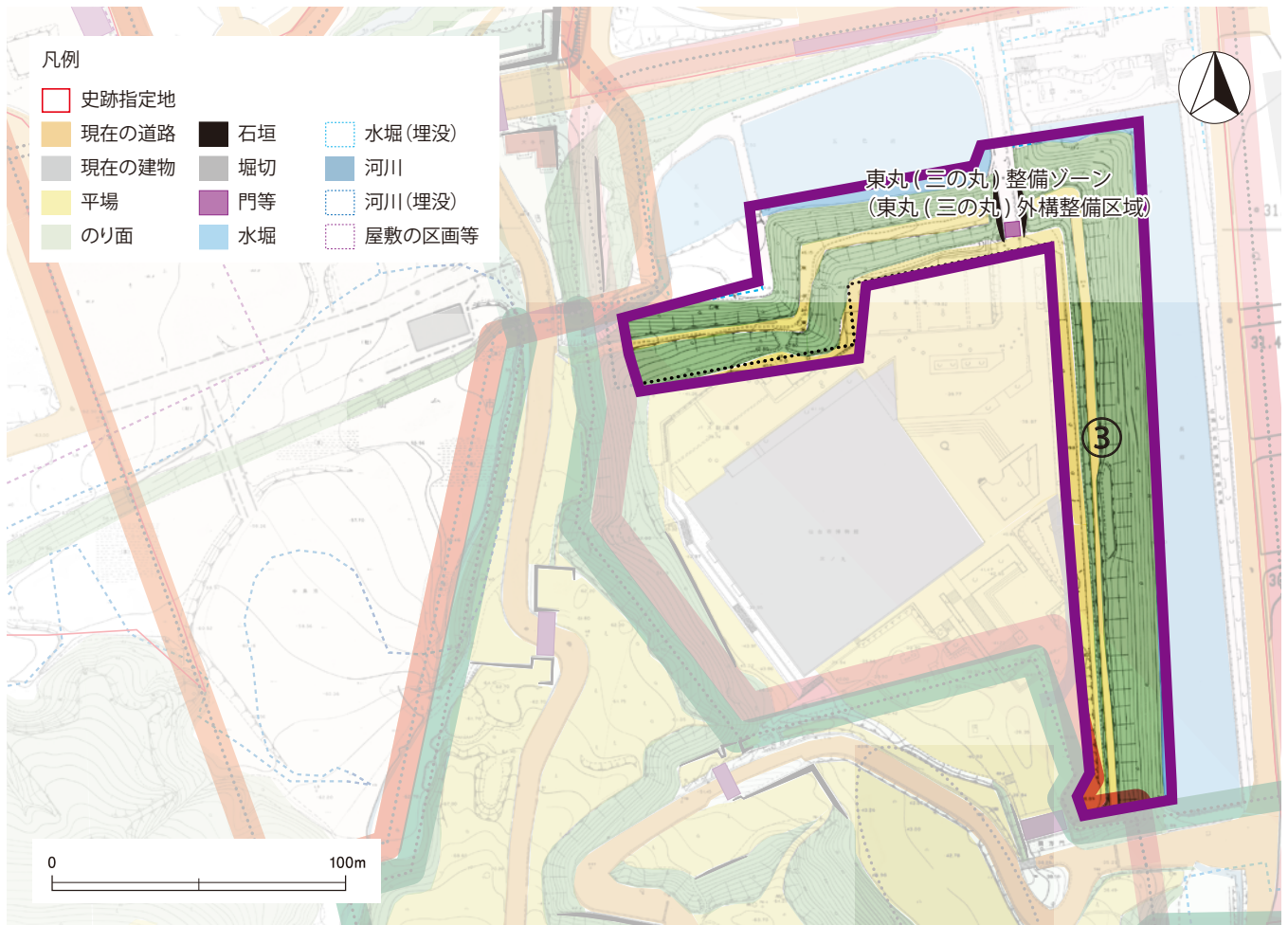


図 8-5 東丸（三の丸）整備ゾーン 整備対象範囲

整備項目と内容		整備スケジュール	
		前期（令和3～7年）	後期（令和8～12年）
調査	発掘調査		
園路整備	舗装、階段、管理用通路		
防災安全施設	侵入防止柵		
サイン施設	誘導、解説		
修景	植生		

④登城路整備ゾーン（登城路整備区域、造酒屋敷整備区域）

発掘調査成果に基づき築城期の大手道ともされる登城路（巽門～沢門）を再現し、登城路を構成する様々な遺構について整備することで、城郭らしい景観とします。また、来訪者が築城期の城郭構造について理解を深め、築城期の登城路を体感しながら学べる空間とします。

- 調査成果に基づき往時の地形を再現した登城路の整備、管理用道路敷設
- 来訪者の動線・視界を阻害する樹木の剪定・伐採・除草、排水処理や法面整備
- 史跡の情報を提供できるサイン・ベンチ・あずまや・照明施設の設置

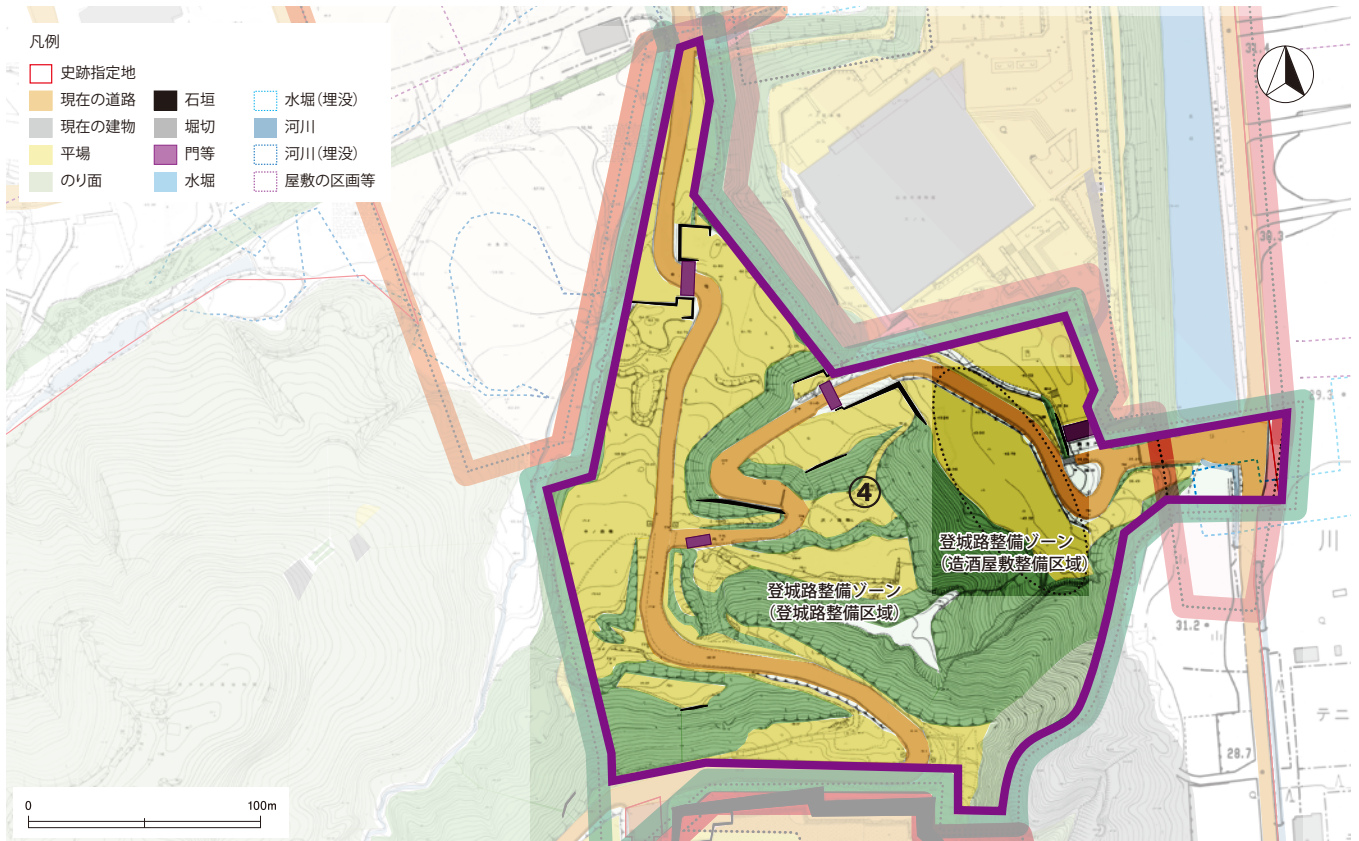


図 8-6 登城路整備ゾーン 整備対象範囲

整備項目と内容		整備スケジュール	
		前期（令和3～7年）	後期（令和8～12年）
調査	発掘調査		
遺構表示	巽門登城路		
園路整備	管理用通路		
便益施設	ベンチ、あずまや、照明		
防災安全施設	侵入防止柵、転落防止柵		
サイン施設	誘導、解説		
修景	植生		
法面保護	崩落防止		
その他	排水整備、構造物撤去		

2 10年間で実施する史跡整備に向けた調査等について

(1) 発掘調査

遺構の再現等の往時の構造を基に行う整備については発掘調査や史資料調査を事前に行い、その成果に基づいて整備を実施します。各種施設の設置などは原則として史跡の保護を最優先した構造としますが、施設の性格上やむを得ず、必要と判断された場合は事前の発掘調査を実施します。

史跡の整備に向けて10年間で発掘調査を実施する予定の区域は以下のとおりです。

ゾーン	区域
大手門整備ゾーン	大手門整備区域・二の丸詰門整備区域・扇坂下整備区域
東丸（三の丸）整備ゾーン	東丸（三の丸）外構整備区域
登城路整備ゾーン	登城路整備区域

(2) 測量調査

保存・修復の基礎データ収集を目的として、石垣や土塁、曲輪の測量・動態観測を継続的に行います。石垣についてはそれらのデータを基に石垣カルテの作成を目指します。

10年間で測量調査を実施する予定の区域は以下のとおりです。

ゾーン	区域
水系整備ゾーン	御裏林整備区域
本丸整備ゾーン	本丸北西部整備区域
大手門整備ゾーン	大手門整備区域・二の丸詰門整備区域・扇坂下整備区域
東丸（三の丸）整備ゾーン	東丸（三の丸）外構整備区域・東丸（三の丸）蔵屋敷整備区域
登城路整備ゾーン	登城路整備区域

(3) 植生の調査

本計画の「7-4 修景に関する計画」P.73～77で記載した植生修景方針に基づいて、史跡内の植生調査を行い、調査成果に基づいて植生の整備についての計画を策定します。

植生調査を実施する区域は以下のとおりです。

ゾーン	区域
本丸整備ゾーン	本丸縁辺地整備区域
大手門整備ゾーン	大手門整備区域
東丸（三の丸）整備ゾーン	東丸（三の丸）外構整備区域
登城路整備ゾーン	登城路整備区域・造酒屋敷整備区域

8-3 事業スケジュール

事業スケジュールは、前期、後期、11年以降の3段階を設定します。11年以降のスケジュールについては、後期の最終1～2年を目途に検討します。

表 8-1 事業スケジュール

■ 各種調査 ■ 景観整備 ■ 史跡整備

※整備内容・スケジュールは予定であり、今後変更する場合があります。

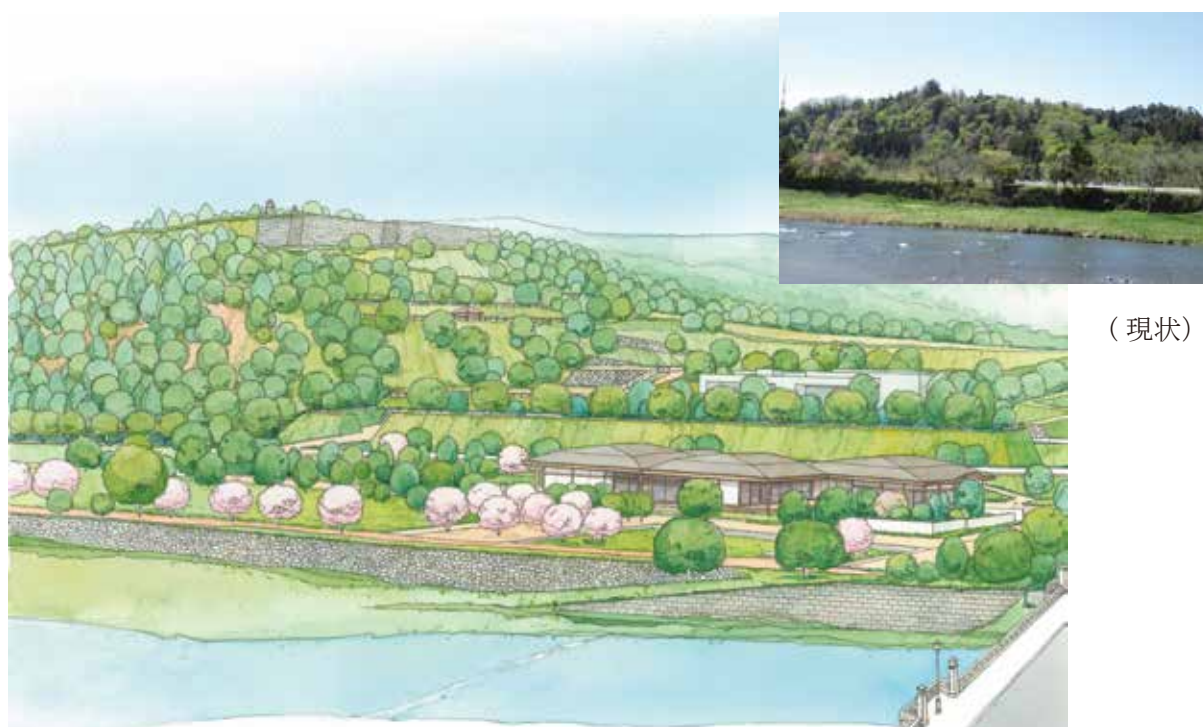
整備基本計画		前期【R 3 (2021) ～ R 7 (2025)】	後期【R 8 (2026) ～ R 12 (2030)】	次期事業計画
行事等		●全国都市緑化フェア（R 5. 4月下旬～6月中旬）予定		●R 18 (2036) 伊達政宗没後 400 年
調 査	整備に向けた調査	植生調査・計画 扇坂下厩発掘調査 東丸土塁発掘調査 巽門登城路発掘調査 測量調査（石垣測量・動態観測）		
	整備に向けた調査（大手門）	大手門復元関連基礎調査（史資料調査・地形測量） 大手門石垣測量調査（石垣測量・動態観測）	大手門周辺（大手門・中島池・二の丸詰門）発掘調査	大手門復元 設計・施工（予定）
整 備	大手門整備ゾーン 【大手門整備区域・二の丸詰門整備区域・扇坂下整備区域】	修景（植生）		
	東丸（三の丸）整備ゾーン 【東丸（三の丸）外構整備区域】	設計・施工 修景（植生）		
	登城路整備ゾーン 【登城路整備区域・造酒屋敷整備区域】	修景（植生）	設計・施工	
	本丸整備ゾーン 【本丸緑辺地整備区域】	修景（植生）	設計・施工	
	修景（維持管理）			

整備イメージ図

※現時点での整備イメージ図であり、今後整備内容を変更する場合があります。



図 8-7 整備イメージ図位置図



(現状)

図 8-8 ①広瀬川対岸からの現状と整備イメージ

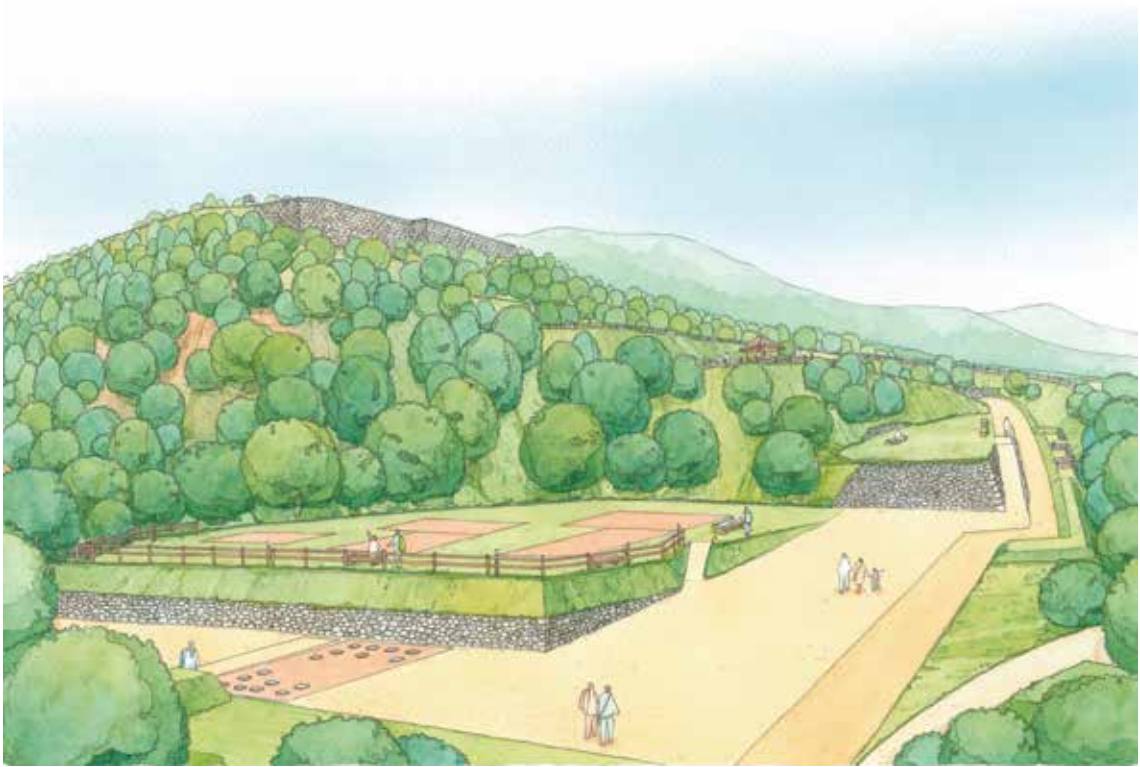


図 8-9 ②登城路整備イメージ



図 8-10 ③本丸東側整備イメージ図

参考資料 1 関連歴史資産の一覧

【仙台城跡を補完する歴史資産】

経ヶ峯伊達家墓所

所在地：仙台市青葉区霊屋下

仙台藩歴代藩主が埋葬された墓所の一つ。二代藩主忠宗は、初代藩主政宗の供養のため寛永13年(1636)に経ヶ峯に瑞鳳寺を創建し、瑞鳳殿を建立した。以後、二代藩主忠宗廟・感仙殿、三代藩主綱宗廟・善応殿が建てられ、九代藩主周宗・十一代藩主齊義・同夫人芝姫の妙雲界廟や、五代藩主吉村以降の公子公女のお子様御廟がおかれた。

国宝であった瑞鳳殿、感仙殿、善応殿は仙台空襲により焼失したが、石段・石垣・土塁等は廟墓の姿としてよく保持されており、市指定史跡となっている。また、墓所を取り巻く自然環境も極めて貴重である。

※平成28年度認定 日本遺産「政宗が育んだ伊達な文化」の構成文化財のひとつ

亀岡八幡神社

所在地：仙台市青葉区川内亀岡町62

文治5年(1189)に伊達氏の祖、朝宗ともむねにより伊達郡(現福島県伊達市)に建立され、伊達氏が代々崇拝した神社である。伊達氏の移居に伴い米沢、仙台と場所を移した。天和3年(1683)、四代藩主綱村が現在地に社殿を建立したが、昭和20年(1945)の戦災により焼失した。

現在も残る石段や石鳥居は、往時を偲ぶ貴重な遺構であり、石段は市登録有形文化財、石鳥居は県指定有形文化財となっている。

大崎八幡宮

所在地：仙台市青葉区八幡4丁目6-1

慶長12年(1607)、初代藩主政宗が旧領の米沢にあり伊達氏が崇拝していた成島八幡宮と、奥州探題大崎氏が崇拝していた大崎市にあった大崎八幡神社を併せて祀った神社である。

本殿・石の間・拝殿は国宝、長床は重要文化財(国指定有形文化財、以下同じ)、石鳥居は県指定有形文化財、社務所・旧宮司宿舎・神馬舎は国登録有形文化財、石段は市登録有形文化財となっている。社殿は、本殿と拝殿を石の間でつなぐ権現造の様式であり、権現造としては現存する最古の建物である。

※平成28年度認定 日本遺産「政宗が育んだ伊達な文化」の構成文化財のひとつ

四ツ谷用水(四ツ谷堰)

所在地：仙台市青葉区

仙台城下における生活・消防用水、排水路として江戸時代初期から整備された水路で、総延長は約44kmに及ぶ。本流は、青葉区郷六で広瀬川から取水され大崎八幡宮の西側から北六番丁通りを東流する。本流から分かれた幾つもの支流は、地形の高低差を利用して城下を網の目状に流れ、人々の生活を支えていた。近代化と共に支流は暗渠化あるいは埋め立てられたが、本流は現在も工業用水として利用されている。

にしだて
西館跡

所在地：仙台市青葉区下愛子

西館は、慶長3年（1598）以降に伊達家家臣・山岸修理が居住し、その後伊達家重臣・茂庭綱元の下屋敷になったとされる。寛永13年（1636）の初代藩主政宗死後、綱元が栗原郡文字村（現在の宮城県栗原市）に移った後は、仙台城二ノ丸の西屋敷に居住し「西館様」と呼ばれた初代藩主政宗の長女・五郎八姫の仮御殿として別荘的な性格を持った。

現在、館跡は畑地・山林となっているが、江戸時代初期の武家屋敷跡としての形態を良好に残しており、市指定史跡となっている。

愛宕神社

所在地：仙台市太白区向山4丁目17-1

愛宕神社は、伊達氏と共に米沢から岩出山を経て仙台に移り、最初は元寺小路に社を構えたが、二代藩主忠宗の時代に現在地の愛宕山に移ったとされる。江戸時代初期頃の建築として、本殿と拝殿が市指定有形文化財、神門が市登録有形文化財となっている。

大満寺虚空蔵堂

所在地：仙台市太白区向山4丁目17-1

大満寺は、初め青葉山に所在したが、仙台城築城の際に初代藩主政宗が経ヶ峯に移し、さらに三代藩主綱宗が二代藩主忠宗廟・感仙殿を造営するにあたり、虚空蔵堂と共に現在地へ移したとされる。現在の建物は、万治2年（1659）の建立で市指定有形文化財となっている。

茂ヶ崎山伊達家墓所

所在地：仙台市太白区茂ヶ崎1丁目5（無尽灯廟の所在）

仙台藩歴代藩主が埋葬された墓所の一つ。四代藩主綱村は、元禄10年（1697）、茂ヶ崎山に黄檗宗大年寺を創建し伊達家の菩提寺とした。以後、四代藩主綱村により藩主の墓所とすることが定められたため、茂ヶ崎山には九代藩主周宗、十一代藩主斉義を除く歴代藩主の墓所がおかれた。このうち無尽灯廟には、五代藩主吉村、十代藩主斉宗、十二代藩主斉邦と、その夫人たちが埋葬されている。

北目城跡

所在地：仙台市太白区郡山字館ノ内

北目城は、元は栗野氏の居城で後に初代藩主政宗の腹心である屋代影頼が城主となった。慶長5年（1600）の関ヶ原の合戦時には、初代藩主政宗が入城し、仙台城に移るまでの間、敵対する上杉氏との戦において指揮を執った。

発掘調査では、大規模な堀跡の他、陶磁器や刀剣、伊達家の家紋が入った漆器の椀など多くの遺物が確認された。現在は、宅地や畑、道路等となっている。

若林城跡

所在地：仙台市若林区古城2丁目3

若林城は、初代藩主政宗が寛永4年（1627）に幕府の許可を得て造営し、その晩年を過ごした城である。若林城の周囲には家臣や町人が暮らす城下町もつくられた。初代藩主政宗の死後は、廃城となったが城内の建築物は仙台城二ノ丸の造営に利用され、跡地は藩の御薬園となった。

発掘調査では、城内の重要な施設と推定される大型の建物群や、多数の礎石建物跡が検出された。敷地内には初代藩主政宗が朝鮮より持ち帰ったとされる「朝鮮ウメ」が残り、国指定天然記念物となっている。

明治12年（1879）には宮城集治監がつくられ、現在も宮城刑務所として利用されている。

陸奥国分寺薬師堂

所在地：仙台市若林区木ノ下3丁目8-1

陸奥国分寺は、奈良時代、聖武天皇の命により全国に置かれた国分寺の一つで、現在地に創建され伽藍が整備された。中世には荒廃したとされるが、初代藩主政宗により慶長12年(1607)に薬師堂が建立された。

仙台市内における桃山建築の代表的建造物であり重要文化財となっている。また、境内を含む一帯は「陸奥国分寺跡」として国指定史跡に、「おくのほそ道の風景地」(木の下及び薬師堂)として国指定名勝となっている。

※平成28年度認定 日本遺産「政宗が育んだ伊達な文化」の構成文化財のひとつ

榴岡天満宮

所在地：仙台市宮城野区榴ヶ岡105-3

榴岡天満宮は、元は東照宮の地にあった天神社が二代藩主忠宗による東照宮造営の際に東側に移され、さらに寛文7年(1667)、四代藩主綱村の時代に榴ヶ岡に移されたものである。綱村が元禄8年(1695)に釈迦堂を建立する際に本殿・拝殿等が整備されたが、現在は、唐門だけが江戸時代の姿を留めているとされ、市登録有形文化財となっている。また、境内は「おくのほそ道の風景地」(つつじが岡及び天神の御社)として国指定名勝となっている。

東照宮

所在地：仙台市青葉区東照宮1丁目6-1

東照宮は承応3年(1654)仙台藩二代藩主伊達忠宗によって建立された徳川家康を祀る神社である。これに伴い門前町である御宮町が割り出された。本殿・唐門・透塀・鳥居・隨身門が重要文化財に、手水舎が県指定有形文化財となっている。

※平成28年度認定 日本遺産「政宗が育んだ伊達な文化」の構成文化財のひとつ

奥州街道

千住宿(東京都足立区・荒川区)から陸奥三厩(青森県東津軽郡外ヶ浜町)に至る街道である。正式な奥州街道は、幕府道中奉行の管轄下にあった白河宿(福島県白河市)までを指すが、しだいに白河宿以北もまとめて奥州街道と称することが多くなった。

この街道は、初代藩主政宗が仙台城下を建設する際、それ以前にはより東側に位置していた街道(奥大道)を西側に移動し、城下を通るように引き込んだため、仙台の城下町を南北に縦断する道筋となっている。

芭蕉の辻

所在地：仙台市青葉区大町1丁目4

仙台の城下町を南北に通る奥州街道と仙台城から東西に通る大町通が交差する場所で、これを基準に城下の町割りが行われた。ここには藩の高札が設置されたことから札の辻とも呼ばれ、城下で最も賑わう場所であった。江戸時代後期になると、辻の四隅には城郭風の建物が造られ仙台城下を象徴する風景となった。

現在は、北西角の明治安田生命仙台ビルの前に、昭和46年(1971)竣工の「芭蕉の辻」の碑と「江戸六十九次」「日本橋迄九十三里」「奥州街道」「津軽四十五次」「三厩迄百七里二十二丁」「奥道中」と刻まれた道標が設置されている。

石切丁場推定地

所在地：仙台市青葉区国見

仙台城の石垣に用いた石材は、仙台城下の西郊に位置する国見峠付近（青葉区国見付近）の安山岩質玄武岩（三滝玄武岩ともいう）が用いられたと考えられる。石垣に用いる原石の切出しや加工に関わる作業場（丁場）があったと考えられ、現在も加工途上の石材が随所に残されている。

石垣町

所在地：仙台市若林区石垣町

寛永5年（1628）、初代藩主政宗の若林城造営に伴う城下の南東方面への拡張に際して、石垣衆とされた足軽の屋敷が置かれた町と伝えられている。なお、後に石垣衆は、主に建築に従事する御作事方足軽へと改称されている。

現在も若林区石垣町としてその名が残されている。

石切町

所在地：仙台市青葉区八幡2丁目

仙台城下の北西端に位置し、仙台城築城の際に石垣造営に携わった石工職人が居住していた町と伝えられている。

現在の青葉区八幡2丁目の一部にあたる旧町名である。

貞山堀

所在地：仙台市宮城野区・若林区（仙台市内での所在範囲）

塩竈湾から阿武隈川河口までの仙台湾の海岸線に沿って造られた木曳堀、御船入堀、新堀の総称で知られる運河である。大きく3時期に分けて工事が行われており、最も古いものは阿武隈川と名取川を結んだ「木曳堀」で、初代藩主政宗が仙台城を築城する際、資材の運搬等に利用されたと考えられている。次いで御船入堀が開削され、さらに蒲生、閑上を結ぶ新堀が開削された明治時代頃から貞山堀（運河）と呼ばれるようになった。

現在も、治水や利水機能をもつ土木遺産として市民から親しまれている。平成23年（2011）の東日本大震災で大きな被害を受けたものの、各種の復興事業が行われた。

蒲生御蔵跡

所在地：仙台市宮城野区蒲生

寛文13年（1673）に完成したとされる御舟入堀に併せて設けられた、年貢米等を一時保管する仙台藩の蔵の跡。御舟入堀で運ばれた米などの荷物は、船溜まりからこの蔵へ運び、更に七北田川、船曳堀を通過して苦竹御蔵に運ばれ、その後は陸路で城下へと輸送された。

船溜りと御蔵跡を対象とした発掘調査では、護岸施設や荷札木簡が確認された。

【日本遺産「政宗が育んだ“伊達な”文化」の構成文化財（主要なもの）】

瑞巖寺

所在地：松島町松島字町内 91 番地

円仁の開基とされる古刹で中世には円福寺と称したが、戦国時代を経て衰退していたところ、政宗が復興に力を注ぎ本堂などを再建した。本堂は慶長 14 年（1609）の完成で、内部の襖絵障壁画は仙台藩お抱え絵師によって描かれたものである。

本堂・庫裏および廊下は国宝（本堂障壁画は重要文化財）、御成門・中門・五大堂は国指定重要文化財、総門は県指定有形文化財となっている。国指定名勝「松島」の一角にあたる。

鹽竈神社

所在地：鹽竈市一森山 1- 1

創建年代は明らかでないが、平安時代より記録が見られ、古来奥州一宮として知られる。奥州における代々の有力者により崇拜され、政宗も社殿の大造営を行った。現在の社殿は、四代綱村が元禄 8 年（1695）に着工し、五代吉村の時代にあたる宝永元年（1704）に完成したものである。

本殿・拝殿・四足門（唐門）・廻廊・隋神門以下 14 棟と、石鳥居 1 基は、重要文化財となっている。

多賀城跡附寺跡

所在地：多賀城市

多賀城は古代律令国家が設置した城柵の一つであり、奈良・平安時代には陸奥国府が置かれた場所である。神亀元年（724）大野東人によって創建され、11 世紀中頃まで、古代東北の政治・文化・軍事の中心地としての役割を果たした。

国指定特別史跡の中には、陸奥国府が置かれた多賀城跡のほか、附属寺院跡である多賀城廃寺跡や、多賀城との関連が想定される館前遺跡・柏木遺跡・山王遺跡千刈田地区が含まれている。

参考資料2 中間案に関するパブリックコメントの実施結果について

1. 実施概要

(1) 実施期間

令和2年11月25日(水)から令和2年12月25日(金)

(2) 周知方法

市政だよりおよび仙台市ホームページ、仙台市教育委員会ホームページに掲載

概要版および本編の配布(市政情報センター、区役所・総合支所、仙台市博物館、地底の森ミュージアム、歴史民俗資料館、仙台城見聞館等)

(3) 意見聴取方法

郵送、ファクス、電子メールによる提出

2. 意見募集結果

(1) 提出者数 34人・団体

(2) 意見件数 127件

(3) 意見内訳

項目	件数
第1章 _ 計画策定の経緯と目的	1
第2章 _ 計画地の環境	—
第3章 _ 仙台城跡の概要	—
第4章 _ 仙台城跡の本質的価値	—
第5章 _ 仙台城跡および広域関連整備の現状と課題	2
第6章 _ コンセプトと基本理念・基本方針	1
第7章(7-1) _ 全体計画および地区区分計画(A 水系整備ゾーン)	16
第7章(7-1) _ 全体計画および地区区分計画(B 本丸整備ゾーン)	3
第7章(7-1) _ 全体計画および地区区分計画(F 崖地整備ゾーン)	2
第7章(7-3) _ 調査等に関する計画	4
第7章(7-4) _ 修景に関する計画	4
第7章(7-6) _ 動線計画	7
第7章(7-7) _ 案内・解説施設に関する計画	9
第7章(7-10) _ 公開・活用に関する計画	12
第7章(7-11) _ 管理・運営に関する計画	6
第8章 _ 事業計画	41
その他	19
合計	127

3. 主な意見の内容

①第1章 _ 計画策定の経緯と目的

計画期間の見直しの要望

②第5章 _ 仙台城跡および広域関連整備の現状と課題

広域関連歴史資産の活用と一体的な整備の要望

③第6章 _ コンセプトと基本理念・基本方針

「政宗ビュー」の用語変更の要望

④第7章（7-1）_ 全体計画および地区区分計画（A 水系整備ゾーン）

水質、動植物等の環境調査の要望 / 整備への市民参加の要望 113

⑤第7章（7-1）_ 全体計画および地区区分計画（B 本丸整備ゾーン）

史跡範囲内の私有地について土地所有者との協力と連携の要望

⑥第7章（7-1）_ 全体計画および地区区分計画（F 崖地整備ゾーン）

崖地の保全についての要望

⑦第7章（7-3）_ 調査等に関する計画

調査範囲の提案

⑧第7章（7-4）_ 修景に関する計画

植生の伐採や除草の要望

⑨第7章（7-6）_ 動線計画

動線設定について史跡範囲内の土地所有者との協議の要望 / モデルコースの名称変更と、コースの追加の要望 / 自転車用通路の確保と、園路の追加整備の要望

⑩第7章（7-7）_ 案内・解説施設に関する計画

各ガイダンス施設の連携の提案 / ガイダンス施設への案内表示の追加や展示内容の更新の要望 / サイン施設の追加設置の要望

⑪第7章（7-10）_ 公開・活用に関する計画

仙台城跡の歴史と特性を活かしたイベントの提案 / ICT を利用した活用方法検討の要望 / 学べる空間として活用できる整備の要望 / 出前講座、ガイド活動の要望 / 各種調査、一部の整備への市民ボランティア参加の提案

⑫第7章（7-11）_ 管理・運営に関する計画

委員会構成員への仙台市民の追加の要望 / 仙台城跡整備に向けた新たな組織づくりの提案 / 関係機関への土地所有者の追加の要望

⑬第8章 _ 事業計画

大手門整備の期間短縮の要望 / 大手門を含めた周辺の整備の要望 / 大手門復元の具体的な方法の提案 / 大手門復元への反対意見 / 歴史的建造物復元の要望 / 史跡範囲内の土地所有者との協力と連携の要望

⑭その他

字句の修正等

※意見の概要とその対応については、仙台市ホームページで公開しています。（令和3年2月時点）

参考資料3 小・中学校アンケートの結果について

1. 実施概要

(1) 実施期間

令和2年12月10日（木）から令和2年12月22日（火）

(2) 関連情報の提供手法および周知方法

仙台市文化財パンフレット第77集「国史跡仙台城跡～伊達政宗が築いた仙台城～」の配布

(3) 意見募集方法

任意の小学校2校の第6学年3クラス、および任意の中学校2校の第2学年3クラスから、所定の用紙で意見を求めました。

2. アンケート結果

(1) 提出件数

189名（中学生93名、小学生96名）

(2) アンケート集計の概要

意見の概要については、以下のとおりです。

※以下の表とグラフは、アンケート回答者の総数に対して、その回答をした人数と割合を示しています。

そのため、複数回答可の質問については、割合の合計は100%ではありません。


①小学生のアンケート結果

問1 仙台市の歴史への興味

(小学生)

【質問】仙台市の歴史に興味がありますか？

回答	回答者の人数	回答者の割合
■興味がある	54人	56%
■興味がない	41人	43%
■回答なし	1人	1%
合計	96人	100%



【分析】

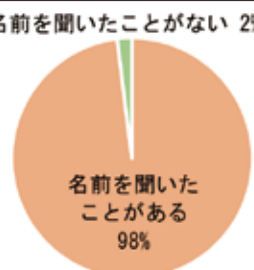
仙台市の歴史について、興味があると回答した児童が半数をわずかに上回っているが、興味がないと回答した児童も43%と半数近く数えられ、仙台市に暮らしながらも郷土の歴史に関心がない児童が多くみられる。将来、文化財の保存と活用を担う若い世代に対して、仙台城跡を含めた仙台市の歴史の魅力を発信し関心を得られる取組みが求められる。

問2 仙台城（青葉城）の知名度

(小学生)

【質問】仙台城または青葉城という名前を聞いたことがありますか？

回答	回答者の人数	回答者の割合
■聞いたことがある	54人	56%
■聞いたことがない	41人	43%
合計	96人	100%



問3 仙台城を見聞きする手段

(小学生)

【質問】問2で「聞いたことがある」と答えた方は、何で聞いたり見たりしましたか。(複数回答可)

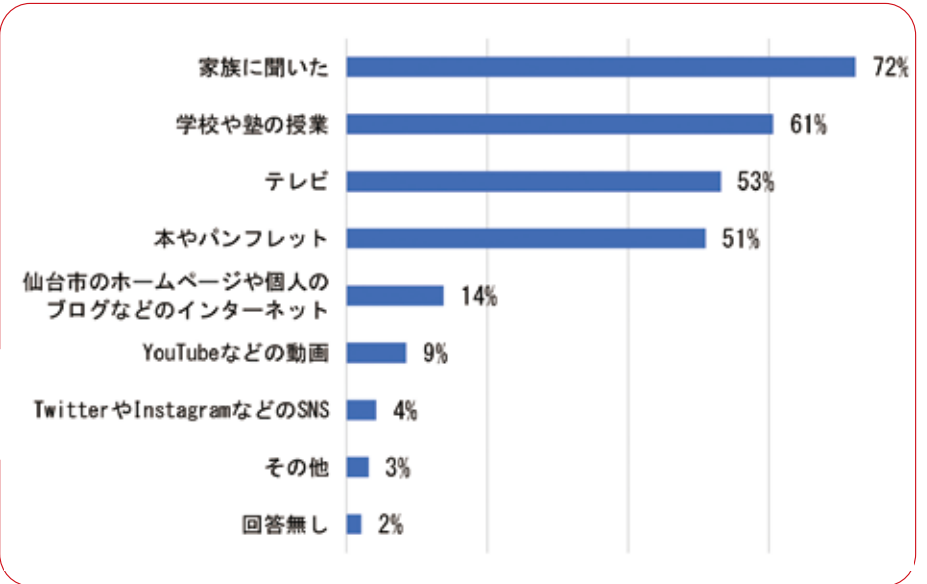
回答	回答者の人数	回答者の割合
家族に聞いた	68人	72%
学校や塾の授業	57人	61%
テレビ	50人	53%
本やパンフレット	48人	51%
仙台市のホームページや個人のブログなどのインターネット	13人	14%
YouTubeなどの動画	8人	9%
TwitterやInstagramなどのSNS	4人	4%
その他	3人	3%
回答無し	2人	2%

【分析】

仙台城（青葉城）の名称を聞いたことがあると回答した98%の児童のうち、その手段として家族に聞いたという回答が最も多く、インターネットやソーシャルネットワーキングサービス（以下：SNS）で知ったという回答が少ない結果となっている。情報機器の普及は小学生にも及ぶが、仙台城の情報を自発的に得る機会は少ないようである。問1で見られた歴史への関心の結果も一部で表れており、児童が仙台の歴史に興味をもち、自発的に仙台城跡の情報を得るような情報発信方法が求められている。



問2 仙台城（青葉城）の知名度



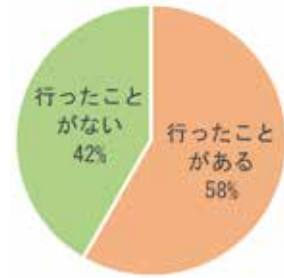
問3 仙台城の名を見聞きする手段

問4 博物館または東北大学植物園への訪問の有無

(小学生)

【質問】 仙台市博物館または東北大学植物園に行ったことがありますか？

回答	回答者の人数	回答者の割合
■ 行ったことがある	56人	58%
■ 行ったことがない	40人	42%
合計	96人	100%



【質問】 仙台城跡にある伊達政宗の像まで行ったことがありますか？（複数回答可）

回答	回答者の人数	回答者の割合	
歩いて行ったことがある	63人	66%	66%
行ったことがない	20人	21%	21%
車で行ったことがある	19人	20%	20%
バスで行ったことがある	8人	8%	8%
自転車で行ったことがある	6人	6%	6%
回答なし	2人	2%	2%

【分析】

全体の66%の児童が徒歩で伊達政宗像まで行ったことがあると回答しており、歩行者の利便性に配慮した、安全で快適な園路と案内・解説施設の設置が求められる。

【質問】 仙台城跡に行ってみてどんなところが良かったですか？（複数回答可）

回答	回答者の人数	回答者の割合	
本丸跡から見る景色がきれいだった	63人	87%	87%
自然が多くて気持ちよかった	20人	29%	29%
お城らしくて楽しかった	19人	26%	26%
特になかった	8人	2%	3%

【分析】

仙台城を訪れた児童の87%が本丸跡から見る景色がきれいだったと回答しており、本丸跡からの眺望は仙台城跡の魅力となっている。一方でお城らしさを感じる児童は26%に留まっている。自由意見では「お城の跡ではなく、お城がみたかった」という意見も得られ、仙台城の本質的価値を顕在化し、城郭らしいとすることができる整備が求められる。

【質問】 仙台城跡に行ってみてどんなところが悪かったですか？（複数回答可）

回答	回答者の人数	回答者の割合	
特になかった	47人	62%	62%
城の建物がなくてつまらなかった	19人	25%	25%
車が近くを走っていて危ないと感じた	5人	7%	7%
回答なし	4人	5%	5%
自然が多くてお城らしくなかった	0人	0%	0%

【分析】

仙台城を訪れた児童の62%が、現状の仙台城跡に対して悪い点は特に感じていないという回答が得られた一方で、城の建物がなくてつまらなかったという回答が全体の25%の児童から得られ、歴史的建造物の復元は仙台城跡の魅力向上に繋がると考えられる。自由意見では「城についての説明がなかった」という意見もあり、案内・解説施設の充実化やユニバーサルデザインを考慮した内容の見直し等が求められる。

【質問】 仙台城跡がこれからどうなったら行きたいと思いますか？（3つ選択）

回答	回答者の人数	回答者の割合	
昔の仙台城にあった建物などを再現して実際に見ることができる	42人	44%	44%
バーチャルリアリティ（VR）などが増えて、昔のお城の景色を見ることができる	34人	35%	35%
草木を整えてお城らしくなり、今は行くことができない場所も散歩できる	31人	32%	32%
昔のお城にいた人の服を着たり、昔の方法でお皿を作るなどの体験ができる	23人	24%	24%
夜に仙台城跡を散歩出来たり、イベントに参加できる	22人	23%	23%
発掘調査に参加することができる	20人	21%	21%
食べたり飲んだりするイベントに参加できる	18人	19%	19%
説明看板が増えてお城の事を詳しく知ることができる	17人	18%	18%
今のままがいい	5人	5%	5%
仙台城跡を案内してくれる人と、一緒に見学することができる	1人	1%	1%

【分析】

本来の仙台城跡の姿を見ることができる整備を望む回答が多く得られ、植生修景について望む回答も32%得られている。各種イベントの実施についてもそれぞれ約20%の回答が得られたが、仙台城跡のガイドについては1%の回答しか得られず、小学生も楽しみながら学べるガイド活動の展開が求められる。


②中学生のアンケート結果

問1 仙台市の歴史への興味

(中学生)

【質問】仙台市の歴史に興味がありますか？

回答	回答者の人数	回答者の割合
■興味がある	48人	52%
■興味がない	43人	46%
■回答なし	2人	2%
合計	93人	100%



【分析】


仙台市の歴史に興味があると回答した生徒が半数をわずかに上回る結果であり、小学生と比較しても割合の変化はほとんど見られない。小学生と同様に、仙台城跡を含めた仙台市の歴史の魅力を発信し関心を得られる取組が求められる。

問2 仙台城（青葉城）の知名度

(中学生)

【質問】仙台城または青葉城という名前を聞いたことがありますか？

回答	回答者の人数	回答者の割合
■聞いたことがある	93人	100%
■聞いたことがない	0人	0%
合計	93人	100%



問3 仙台城を見聞きする手段

(中学生)

【質問】問2で「聞いたことがある」と答えた方は、何で聞いたり見たりしましたか。(複数回答可)

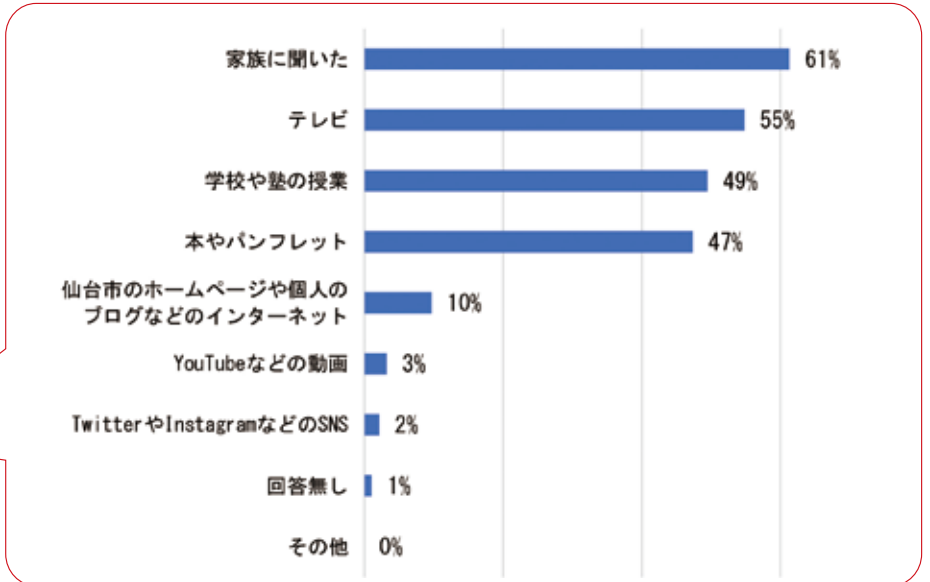
回答	回答者の人数	回答者の割合
家族に聞いた	57人	61%
テレビ	51人	55%
学校や塾の授業	46人	49%
本やパンフレット	44人	47%
仙台市のホームページや個人のブログなどのインターネット	9人	10%
YouTubeなどの動画	3人	3%
TwitterやInstagramなどのSNS	2人	2%
回答無し	1人	1%
その他	0人	0%

【分析】

回答者の割合は小学生と同様の傾向が見られ、家族に聞いたと答えた生徒が61%と最も多く、次いでテレビや学校・塾の授業、本・パンフレットで知った生徒の割合も高いものであった。一方で、関心の低さから情報機器によって自発的に仙台城を知る割合は低く、仙台城について関心を得られる取組みを行い、インターネットを用いた情報発信も積極的に行っていく必要がある。



問2 仙台城（青葉城）の知名度



問3 仙台城の名を見聞きする手段

問4 博物館または東北大学植物園への訪問の有無

(中学生)

【質問】 仙台市博物館または東北大学植物園に行ったことがありますか？



【質問】 仙台城跡にある伊達政宗の像まで行ったことがありますか？（複数回答可）

回答	回答者の人数	回答者の割合	
行ったことがない	30人	32%	32%
歩いて行ったことがある	24人	26%	26%
車で行ったことがある	23人	25%	25%
バスで行ったことがある	17人	18%	18%
回答なし	4人	4%	4%
自転車で行ったことがある	2人	2%	2%

【分析】

伊達政宗の像まで行ったことがないと回答した生徒は32%と多い結果となっている。来訪手段については小学生と比較すると徒歩の割合が減り、車やバスの割合が高くなっている。

【質問】 仙台城跡に行ってみてどんなところが良かったですか？（複数回答可）

回答	回答者の人数	回答者の割合	
本丸跡から見る景色がきれいだった	35人	56%	56%
自然が多くて気持ちよかった	23人	37%	37%
お城らしくて楽しかった	16人	25%	25%
特になかった	11人	17%	17%
回答なし	2人	3%	3%

【分析】

小学生と同様に景色がきれいだったと感じた割合が最も多かったが、割合は約60%と減少している。一方で、特になかったという回答が増えており、現在の仙台城跡に魅力を感じていない生徒も少なくはない。自由記述では「夜の政宗像のライトアップがきれいだった」といった意見もあり、夜間の公開活用を含めた魅力の創出および発信について検討する必要がある。

【質問】 仙台城跡に行ってみてどんなところが悪かったですか？（複数回答可）

回答	回答者の人数	回答者の割合	
特になかった	33人	52%	52%
城の建物がなくてつまらなかった	14人	22%	22%
車が近くを走っていて危ないと感じた	8人	13%	13%
回答無し	5人	8%	8%
自然が多くてお城らしくなかった	2人	3%	3%

【分析】

小学生と同様、城郭らしさを示す建造物が不足していると感じる生徒が多く、歴史的建造物の復元が仙台城跡の魅力向上につながると考えられる。また小学生に比べ、車両通行に危険性を感じた生徒が増加しており、安全な園路整備も求められる。自由意見では来訪時の利便性や快適さについての意見があり改善が求められている。

【質問】 仙台城跡がこれからどうなったら行きたいと思いますか？（3つ選択）

回答	回答者の人数	回答者の割合	
昔の仙台城にあった建物などを再現して実際に見ることができる	47人	51%	51%
バーチャルリアリティ（VR）などが増えて、昔のお城の景色を見ることができる	31人	33%	33%
草木を整えてお城らしくなり、今は行くことができない場所も散歩できる	24人	26%	26%
昔のお城にいた人の服を着たり、昔の方法でお皿を作るなどの体験ができる	19人	20%	20%
夜に仙台城跡を散歩出来たり、イベントに参加できる	19人	20%	20%
発掘調査に参加することができる	16人	17%	17%
食べたり飲んだりするイベントに参加できる	16人	17%	17%
説明看板が増えてお城の事を詳しく知ることができる	12人	13%	13%
今のままがいい	9人	10%	10%
仙台城跡を案内してくれる人と、一緒に見学することができる	2人	2%	2%

【分析】

小学生と比較して割合の増減はあるものの、ほぼ同様の結果となっている。多くの生徒が本来の仙台城跡の姿を顕在化したお城らしい姿を望み、イベントの開催についてもそれぞれ約20%回答が得られている。仙台城のガイドについても同様に回答率は低く、若い世代のニーズに合わせた整備と公開活用が求められる。

仙台城跡せんたいじょうについてのアンケート

小学生のみなさんへのお願い

みなさんが暮らしている仙台市の歴史は、今から400年くらい前に伊達政宗いだてまさむねが建てた仙台城せんたいじょう（青葉城）の周りの町（城下町）から始まりました。仙台城は、青葉山を中心には作られたとても広いお城です。今は、もともとあった建物が壊されてしまい、ほとんどが無くなっています。しかし、仙台城跡には堀ほりや石垣いしがきなど、お城であることが分かるものもたくさん残っています。また、発掘調査はつこくたうさでは昔の建物の跡やお城で使われていたお皿などがたくさん見付かりました。今、仙台市では仙台城跡で楽しく学んだり、散歩などができようようにして、たくさんの人に来てもらうための計画を考えています。

そこで、仙台に暮らしているみなさんにこれからの仙台城跡がどうなっていくと良いと思うか意見を聞いて、計画の参考にしたいと考えています。

いっしょに配られたお城のパンプレットを見ながら、次のアンケートに答えてください。

(1) 仙台市の歴史に興味がありますか？（あてはまる数字を○で囲んでください。）

- 1 興味がある
- 2 興味がない

(2) 仙台城または青葉城という名前を聞いたことがありますか。

（あてはまる数字を○で囲んでください。）

- 1 聞いたことがある
- 2 今日初めて聞いた

(3) (2)で「聞いたことがある」と答えた方は、何で聞いたり見たりしましたか？

（あてはまる数字を○で囲んでください。いくつ○をつけても大丈夫です。）

- 1 家族に聞いた
- 2 本やパンプレット
- 3 学校や塾の授業
- 4 テレビ
- 5 YouTubeなどの動画
- 6 TwitterやInstagramなどのSNS
- 7 仙台市のホームページや個人のブログなどのインターネット

(4) 仙台市博物館または東北大学植物園ほくほくに行つたことがありますか？

（あてはまる数字を○で囲んでください。）

- 1 行ったことがある
- 2 行ったことがない

(5) 仙台城跡にある伊達政宗の像まで行つたことがありますか？

（あてはまる数字を○で囲んでください。）

- 1 歩いて行つたことがある
- 2 自転車で行つたことがある
- 3 車で行つたことがある
- 4 バスで行つたことがある
- 5 行つたことがない⇒(8)へ

(6) 仙台城跡に行つてみて、どんなところが良かったですか？

（数字を○で囲んでください。いくつ○をつけても大丈夫です。）

- 1 お城らしくて楽しかった
- 2 木や草がたくさんあって気持ちよかった
- 3 高いところから景色が見られて楽しかった
- 4 良いところはなかった

■ その他に思ったことがあれば自由に書いてください。

(7) 仙台城跡に行つてみて、どんなところが悪かったですか？

（数字を○で囲んでください。いくつ○をつけても大丈夫です。）

- 1 お城の建物が無くてつまらなかった
- 2 木や草がたくさんあってお城らしくなかった
- 3 車が近くを走っていて危ないと感じた
- 4 悪いところはなかった

■ その他に思ったことがあれば自由に書いてください。

(8) 仙台城跡がこれからどうなつたら行きたいと思いますか？

（3つ選んで、番号を○で囲んでください）

- 1 昔の仙台城にあった建物などを作り直して見ることができるといい。
- 2 木や草を豊ゆたかくしてお城らしくなり、今行くことができな場所も散歩できる。
- 3 説明着せつめいちゃくがが増えて、お城の事を詳しく知ることができるといい。
- 4 バーチャルリアリティ（VR）などが増えて、昔のお城の景色を見ることができるといい。
- 5 仙台城跡を案内してくれる人と、いっしょに見学することができるといい。
- 6 夜に仙台城跡を散歩できたり、イベントに参加できるといい。
- 7 食べたり飲んだりするイベントに参加できるといい。
- 8 昔のお城にいた人の服を着たり、昔の方法でお皿を作るなどの体験ができるといい。
- 9 発掘調査に参加できるといい。
- 10 今のままがいい。

■ その他、思いつくことを自由に書いてください。

～ご協力ありがとうございました～

仙台城跡についてのアンケート

中学生の皆さんへのごお願い

皆さんが暮らしている仙台市の歴史は、今から約400年前に伊達政宗が建てた仙台城（青葉城）の城下町から始まりまりました。仙台城は、青葉山を中心に作られたとても大きなお城です。今は、もともとあった建物が壊されてしまい、ほとんどが無くなっていきます。しかし、仙台城跡には堀や石垣など、城であることが分かるものも多く残っています。また、発掘調査では昔の建物の跡や城で使われていた瓦や皿などがたくさん見付かりました。今、仙台市では仙台城跡をお城らしく整備して多くの人に来てもらうための計画を作っています。

そこで皆さんが仙台城跡についてどんなイメージを持ち、これからどうなると良いと考えるか意見を集めて、これからの計画づくりの参考にしたいと考えています。

一緒に配られた仙台城跡のパフレットを見ながら、次のアンケートに答えてください。

(1) 仙台市の歴史に興味がありますか？（あてはまる数字を○で囲んでください。）

- 1 興味がある
- 2 興味がない

(2) 仙台城または青葉城という名前を聞いたことがありますか。

（あてはまる数字を○で囲んでください。）

- 1 聞いたことがある
- 2 今日初めて聞いた

(3) (2)で「聞いたことがある」と答えた方は、何で聞いたり見たりしましたか？

（あてはまる数字を○で囲んでください。複数回答可）

- 1 家族に聞いた
- 2 本やパフレット
- 3 学校や塾の授業
- 4 テレビ
- 5 YouTubeなどの動画
- 6 TwitterやInstagramなどのSNS
- 7 仙台市のホームページや個人のブログなどのインターネット

(4) 仙台市博物館または東北大学植物園に行ったことがありますか？

（あてはまる数字を○で囲んでください。）

- 1 行ったことがある
- 2 行ったことがない

(5) 仙台城跡にある伊達政宗の像まで行ったことがありますか？

（あてはまる数字を○で囲んでください。）

- 1 歩いて行ったことがある
- 2 自転車で行ったことがある
- 3 車で行ったことがある
- 4 バスで行ったことがある
- 5 行ったことがない⇒(8)へ

(6) 仙台城跡に行ってみて、どんなところが良かったですか？

（数字を○で囲んでください。複数回答可）

- 1 お城らしくて楽しかった
- 2 自然が多くて気持ちよかった
- 3 本丸跡から見る景色がきれいだった
- 4 良いところはなかった

■ その他に感じたことがあれば自由にご記入ください。

(7) 仙台城跡に行ってみて、どんなところが悪かったですか？

（数字を○で囲んでください。複数回答可）

- 1 城の建物が無くてつまらなかった
- 2 自然が多くてお城らしくなかった
- 3 車が近くを走っていて危ないと感じた
- 4 悪いところはなかった

■ その他に感じたことがあれば自由にご記入ください。

(8) 仙台城跡がこれからどうなったら行きたいと思いますか？

（3つ選んで、番号を○で囲んでください）

- 1 昔の仙台城にあった建物などを再現して実際に見ることができるといい
- 2 草木を整えてお城らしくなり、今は行くことができない場所も散歩できる
- 3 説明看板が増えて、お城の事を詳しく知ることができるといい
- 4 バーチャルリアリティ（VR）などが増えて、昔のお城の景色を見ることができるといい
- 5 仙台城跡を案内してくれる人と、一緒に見学することができるといい
- 6 夜に仙台城跡を散歩できたり、イベントに参加できるといい
- 7 食べたり飲んだりするイベントに参加できるといい
- 8 昔のお城にいた人の服を着たり、昔の方法でお皿を作るなどの体験ができるといい
- 9 発掘調査に参加できるといい
- 10 今のままがいい

■ その他 思いつくことを自由に書いてください。

～ご協力ありがとうございました～

参考資料4 計画内の用語説明

難解な用語

用語	説明	初出ページ
アイシーティ I C T	Information and Communication Technology 「ヒトとヒト」「ヒトとモノ」それぞれの間で情報や知識を共有すること。	93
しゅんせつ 浚渫	水底の土砂をすくい取ること。	55・56
のりかた 法肩	法面の最上端。	91
のりめん 法面	自然斜面、または山を削ったり盛土したりすることにより作られる人口斜面のこと。	63・64
るとう 露頭	地層が土や植物に覆われないで直接地表に現れているところ。	88
いし 移徙	貴人が転居することを敬っていう語。	17

文化財の保存・活用・整備に関する用語

用語	説明	初出ページ
こうせいようそ 構成要素	史跡指定地に存在し、史跡を構成している要素のこと。史跡の適切な活用を図るためには、構成要素を確実に把握し、史跡の指定理由にそぐわない構造物等は、基本的に指定地外への移設または撤去となる。	43
サイン	案内板・解説板等のこと。	3
しせき 史跡	文化財保護法では、「貝塚、古墳、都城跡、城跡、旧宅、その他の遺跡で、わが国にとって歴史上または学術上価値の高いもの」のうち重要なものと規定されている。 地方自治体が国に申請し、文部科学大臣が指定する。	1
にほんいさん 日本遺産	地域の歴史的魅力や特色を通じて日本の文化・伝統を語るストーリーのこと。ストーリーを語る上で不可欠な文化財群を活用し、地域活性化を図ることを目的としている。市町村が申請し、「日本遺産審査委員会」の審議結果を踏まえて、文化庁が認定する。	6
べんえきしせつ 便益施設	休憩施設やトイレ等、利用者が快適に過ごすための施設のこと。	3

歴史的用語・考古学の用語

用語	説明	初出ページ
いたび 板碑	石材を板状に加工し、仏を表す梵字の種子、仏像などを刻んだ供養塔。	17
いわきりじょうがっせん 岩切城合戦	観応元年(1350)に奥州管領として派遣された吉良貞家と畠山国氏の対立に始まった戦い。岩切城主の留守氏は畠山氏に味方するが、吉良氏方の軍勢に追い込まれ岩切城・新田城は落城した。	17
うずみもん 埋門	城の石垣や土塀、築地などの下方を低く切り抜いてつくった小門。裏門として用いる。	37
おいまわし 追廻	藩政時代に仙台藩士が馬術訓練のため馬を乗りまわした馬場のあった場所。馬に関わる役人の屋敷や厩舎なども置かれていた。	8

用語	説明	初出ページ
おすず御清水	仙台城本丸西側にあった深沢の谷頭付近から湧き出る清水で、仙台城本丸の重要な水源であった。	52
かけづくり懸造	本丸の東辺にあたる場所に崖に突き出して造られた数寄屋風書院造の建造物。来客の接待にも使用された。	18
からて搦め手	城の裏口。	37
きりいしづ切石積み	表面を四角形などに整形した石材を積み上げる石垣の技法。「切込ハギ」とも称される。	36
きりどおし切通	山や丘などを削って切り開いた道路。	37
きんせいじょうかく近世城郭	織田信長の安土城～江戸時代にかけて築かれた。多くは天守をもつ石造りの城である。	1
きんせいちょう勤政庁	戊辰戦争後、28万石となった新封仙台藩の政治の場（藩庁・役所）のこと。仙台城二の丸の建物を使用した。廃藩置県後は養賢堂が県庁となりその機能を担った。	18
くるわ曲輪	城館を構成する平場。周囲は石垣・土塁や堀、切岸などで区画される。「郭」とも記され、近世では「丸」を付けて称されることが多い。	12
こぐち虎口	城や曲輪の出入り口。通常は敵の侵入を妨げる工夫が施される。	17
こけら葺	薄い木材板（板厚2～3ミリ）を用いて施工する板葺きの屋根。	参考資料
こんげんづくり権現造	参詣者が供物をささげる幣殿等で本殿と拝殿を繋いだ建築様式の建物のこと。	参考資料
とうほくちんだい東北鎮台	明治4年（1871）に政府が仙台に設置した軍隊。はじめは東北鎮台と言い、国分町の外人屋に置かれたが、のちに仙台城二の丸に移転し、明治6年に組織が改変され、仙台鎮台と名称を変えた。のちの第二師団。	18
そせきあと礎石跡	建築物の柱を支える石があった跡。	36
たてぼり堅堀	斜面と同じ方向に上から下に向かって設けられた空堀。堅土塁と同じく、斜面における敵の横方向への動きを制約するためのもの。	17
どるい土塁	土を土手状に積み上げた防御施設。「土居」「土手」とも称される。	20
なわぼり縄張	城の平面プランまたはそれを設計すること。	17
のづらつ野面積み	自然石や荒く割った石材を、あまり加工せずに積み上げる石垣の技法。	36
はそんかたかいしよ破損方会所	城の建物の破損した箇所を道具で修理する施設。	18
ひらじろ平城	平地に建てられた城。	21
ふしん普請	石垣や土塁、堀の構築、曲輪の造成などの土木工事全般をいう。	17
ほりきり堀切	尾根や台地を切断する形で設けられた空堀。	20
みずぼり水堀	水を引き入れ湛えた堀。	9
やまじろ山城	険しい山の地形を利用して山頂・山腹などに築かれた城。	17

自然科学の用語

用語	説明	初出ページ
あたん 亜炭	炭。地質学では亜炭とよぶ。浅い地層にあり、比較的やわらかい。	12
かいようせいきこう 海洋性気候	気温の年変化・日変化が小さく、一年中温暖で湿度が高い。	11
こうしんどう 更新統	更新世の地層。更新世は、人類の出現した時期で、約 258 万年～ 1 万 1700 年前の期間。	11
せんしんどう 鮮新統	鮮新世の地層。鮮新世は約 533 万 3000 年前～約 258 万年前の期間。	11
てんねんこうしん 天然更新	天然の力を利用した林木の保護方法。自然に落下した種子などから樹木を発生させることで、森林の再生を図る。	38
にじりん 二次林	人為的、自然災害などによって森林が破壊されたあとに土中に残った種子等が生長することで形成された森林。	13

史跡仙台城跡整備基本計画

令和3年3月

発行：仙台市教育委員会
〒980-0111 仙台市青葉区上杉 1-5-12 上杉分庁舎
TEL022-214-8544 FAX022-214-8399

印刷：株式会社仙台紙工印刷
〒983-0036 仙台市宮城野区苦竹 3-1-14
TEL022-231-2245 FAX022-231-2247

